

自転車競技のガイドライン

1. 大会参加者の留意点

- (1) 発熱（37.5℃以上）や咳・咽頭痛などの風邪症状、だるさや息苦しさ、味覚や臭覚の異常など体調不良の場合は医療機関を受診し、大会参加についてはその指示に従うこと。
- (2) 大会2週間前から検温と体調管理を行い、健康チェックシートを記入すること。
- (3) マスクを持参し、試合を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること。
- (4) 他の参加者との距離2m（最低1m）を確保し、大きな声で会話・応援等をしないこと。
- (5) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- (6) 大会中の飲食は必要最低限にとどめ、周囲の人となるべく距離をとって対面を避け、会話は控えめにし、咳エチケットを徹底すること。
- (7) ゴミ（特に鼻水・唾液等がついたもの）は、ビニール袋に入れて密閉し各自持ち帰ること。
- (8) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに顧問に申し出ること。
- (9) 専門部が定める感染症対策及び注意事項を遵守すること。

2. 参加校への注意事項

- (1) 各校で、参加生徒・教職員の検温結果及び健康状態を把握した上で大会参加してください。
*引率責任者は、大会の参加生徒が持参するチェックシートとあわせて生徒の健康状態を直接確認して健康状況確認用紙（様式2）を提出させてください。
- (2) 大会参加については、生徒本人と保護者の意向を尊重し、参加の強制とならないよう十分配慮してください。
- (3) 生徒及び教職員が感染者となった場合、療養期間は大会参加禁止とします。なお、完治後の大会参加にあたっては、主治医または保健所に相談してください。濃厚接触者となった場合、外出自粛期間は大会参加禁止とします。接触者は、PCR 検査結果が陰性であれば大会参加可能です。
チーム内で濃厚接触者等となりPCR 検査を受ける生徒がいる場合、検査結果が出るまでの他の生徒の大会参加については、医師または保健所が感染リスクが低いと判断した場合、参加可能とします。
- (4) 学校において生徒・教職員の感染が確認された場合、保健所が感染者の行動履歴把握や濃厚接触者等特定の為の調査を行います。学校設置者が、保健所の調査や学校医の助言等を踏まえて臨時休業（学校の全部）の判断をした場合、当該学校はその期間は大会参加禁止とします。
・上記により、大会出場を辞退した場合は高体連事務局まで連絡してください。
- (5) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した生徒・教職員がいた場合は、速やかに専門委員長及び高体連事務局まで連絡してください。
- (6) 「新型コロナウイルス感染症に係る県立学校運営ガイドライン」の「部活動について」が、感染状況の悪化に伴い見直された場合は、大会を延期または中止する場合があります。